【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【公開番号】特開2008-166910(P2008-166910A)
【公開日】平成20年7月17日(2008.7.17)
【年通号数】公開・登録公報2008-028
【出願番号】特願2006-351203(P2006-351203)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｋ　5/151　(2006.01)
Ｈ０３Ｍ　1/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｋ　5/15　C
Ｈ０３Ｍ　1/12　C

【手続補正書】
【提出日】平成20年12月25日(2008.12.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１、第２及び第３のＤフリップフロップを備えたクロック信号生成装置と、
前記クロック信号生成装置から出力される互いに反転した信号波形を有する前記第１出力及び前記第２出力を用いて、サンプル期間とホールド期間を切替えて、入力されたアナログ信号をデジタル信号に変換するＡ／Ｄ変換器と、
を備えたアナログ－デジタル変換装置であって、
前記第１のＤフリップフロップは、
第１のＤ入力端子と、
クロック信号を入力する第１のクロック入力端子と、
前記クロック信号に基づいて、前記第１のＤ入力端子への入力信号を保持して出力する第１の出力端子と、
前記クロック信号に基づいて、前記第１のＤ入力端子への入力信号を反転して出力すると共に、前記出力を前記第１のＤ入力端子にフィードバックして入力する第１の反転出力端子と、
を備え、
前記第２のＤフリップフロップは、
前記第１のＤフリップフロップの前記第１の出力端子からの出力を入力する第２のＤ入力端子と、
前記クロック信号を入力する第２のクロック入力端子と、
前記クロック信号に基づいて、前記第２のＤ入力端子への入力信号を保持して第１出力として出力する第２の出力端子と、
を備え、
前記第３のＤフリップフロップは、
前記第１のＤフリップフロップの前記第１の反転出力端子からの出力を入力する第３のＤ入力端子と、
前記クロック信号を入力する第３のクロック入力端子と、
前記クロック信号に基づいて、前記第３のＤ入力端子への入力信号を保持して第２

出力として出力する第３の出力端子と、
を備え、
前記第２のＤフリップフロップの前記第２の出力端子からの前記第１出力と、前記第３のＤフリップフロップの前記第３の出力端子からの前記第２出力とは、互いに同じタイミングで反転した信号波形を有すると共に
前記第２のＤフリップフロップと前記第３のフリップフロップとは、クロック信号に対する非反転出力のタイミングが同じである、アナログ－デジタル変換装置。
【請求項２】
前記Ａ／Ｄ変換器は、
前記クロック信号生成装置から出力される前記第１出力を用いてＡチャネル側のサンプル期間とホールド期間を切替えて、入力された前記アナログ信号をデジタル信号に変換するＡチャネル側変換器と、
前記クロック信号生成装置から出力される前記第２出力を用いてＢチャネル側のサンプル期間とホールド期間を切替えて、入力された前記アナログ信号をデジタル信号に変換するＢチャネル側変換器と
を備えることを特徴とする請求項１に記載のアナログ－デジタル変換装置。
【請求項３】
請求項１に記載の前記アナログ－デジタル変換装置を搭載したことを特徴とするＩＣチップ。